

安芸地域アクションプラン トピックス

農業分野	p.1～2
林業分野	3～4
漁業分野	5～8
観光分野	
・龍馬伝	9～10
・魚梁瀬森林鉄道遺産	11
・室戸ジオパーク	12
・海の駅「とろむ」	13～14
・東部地域全体	15
補助金活用状況	16

平成22年1月

安芸地域本部

農業分野

安芸地域は、平野部はナスを中心とするハウス園芸地帯として、山間部は古くからのユズの産地として全国的にも知られた地域です。アクションプランでは、日本一の生産量を誇るナスとユズを中心に取り組みを進めています。

ナスに関しては、優良品種(土佐鷹)の導入による品質の向上と、学び教えあう仕組みを通じた反当たり収量の底上げ、まとまりのある産地づくりを推進しています。

一方、中山間地域の暮らしを支えるユズについては、生産性や品質の向上を図るための新植・改植や、将来に渡ってユズ園を適正に管理していくための仕組みづくりを進めています。

あわせて、園芸品目を中心に、環境保全型農業のさらなる推進に取り組んでいます。

これまでの取り組みの、主な内容を簡単にご説明します。

◎ ナスの高収量農家が増加

- ・地域内で学び教え合う場を 20ヶ所に設置、延べ52回開催(～21.11)
- ・各地区で研究会(ナス部会)を 32回開催(～21.11)
- ・各月集出荷場で営農相談日を設け実施

ナスの高収量農家(反18t以上)が 65戸(20園芸年度) → 67戸に増加(21園芸年度)

21園芸年度ナス出荷量も 前年対比 104%と増加

H21.9～10月ナス出荷量が 前年対比 103%と増加

- ・各地区で土佐鷹勉強会を 14回開催(～21.11)
- 土佐鷹作付け面積 H21園年 16.5ha → H22園年 23.6haに増加

◎ ユズ搾汁施設の高度化により搾汁率や処理能力が向上(北川村)

- ・ユズ搾汁施設(総事業費3億7359万)が10/26竣工(産振補助金活用)
搾汁実績 2,070t(前年度総実績1,190t)
搾汁率 16.9% → 17.9%
- ・ユズ銀行(農作業受委託組織)を設立(北川村) 1組織(10月1日設立)
管内 組織に
- ・アグリサポート(農作業アルバイト)で労働力を確保(農家6戸 11名)
- ・管内ユズ農家の生産履歴記帳率 H20年産 90.9% → H21年産 未確認

◎ 環境保全型農業の取り組みが全国的にも評価される

- ・環境保全型農業の取り組みに関連する安芸農業振興センターの普及活動が、農林水産省が後援する「平成21年度普及活動全国コンクール」において、最高の評価である農林水産大臣賞を受賞しました。産地のイメージアップにもつながります。

土着天敵温存ハウス設置グループ

H20年12グループ、58a → H21年17グループ、70a

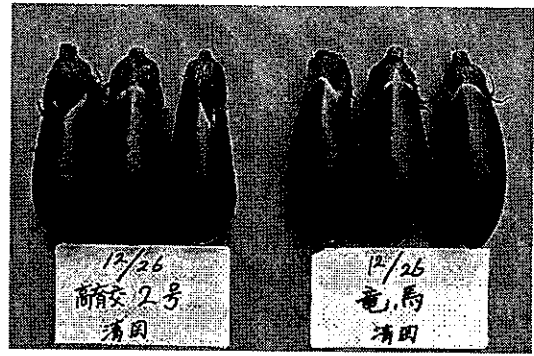
天敵導入農家率 ナス H20 25.6% → H21 30%、

ピーマン H20 95.5% → H21 100%

エコシステム登録数 519戸(H21.11月末ナス・ピーマン) (前年 508戸)

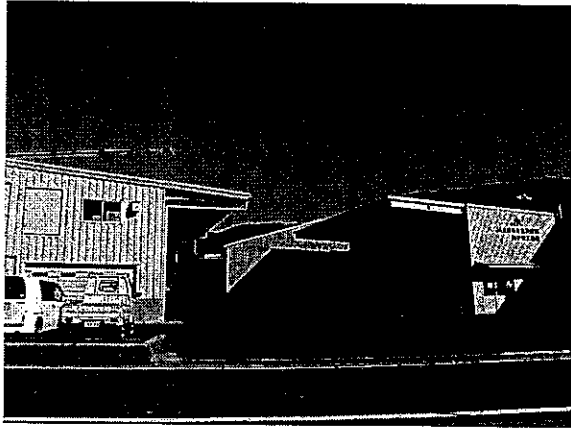


「学びと教えの場」での現地検討会

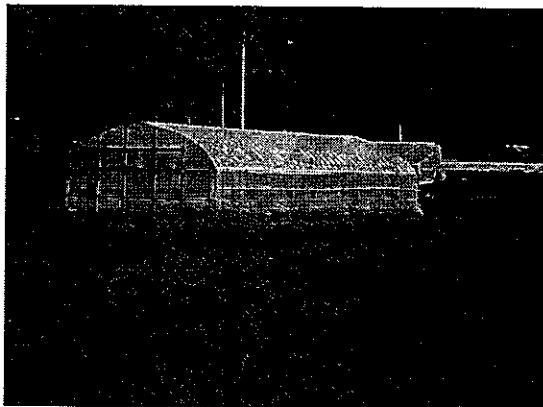


《土佐鷹の主な特徴》

- ・ボリューム感がある
- ・品質がよい(つやがあり、青ベタ果が少ない)
- ・収量は龍馬同等以上で安定している



北川村ユズ搾汁施設

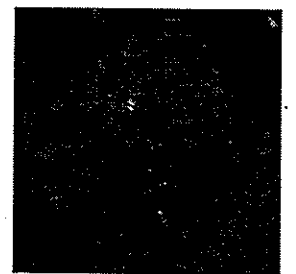


土着天敵温存ハウス

(本圃等に定着した土着天敵を一時的に温存しておくハウス)



タバコカスミカメ



クロヒョウタンカスミカメ

《よく使われている土着天敵》

林業分野

本県は県土の84%が森林で覆われている全国一の森林県です。中でも安芸地域は、森林率が約89%と高く、かつては「魚梁瀬スギ」など優良な天然資源が豊富にあることを背景に、林業・木材産業が大いに栄えました。

しかしながら、安価な外国産木材の輸入により地域材の需要が減少し、木材価格の低迷等により林業・木材産業は大変厳しい環境に置かれています。森林の手入れの遅れは、水資源のかん養や地球温暖化防止など森林の持つ公益的機能にも深刻な影響を及ぼします。

アクションプランでは、「森の工場」(小規模な森林を団地化)づくりを進め、森林施業を集約し効率化することで、適正な森林管理と森林所有者・林業従事者の所得の向上を図っていくこととしています。

また、木材加工品の開発とブランド化や、高級品として紀州産と並び称される土佐備長炭の生産拡大と販売促進にも取り組んでいます。

これまでの取り組みの、主な内容を簡単にご説明します。

◎ 森林所有者への提案型施業を進めるため、提案書入力フォームを作成(高知東部森林組合ほか)

- ・森林組合による森林所有者への提案のベースとなる、提案書入力フォーム作成に着手
作業道開設に当たっての、人役等提案用歩掛の精度の向上
進捗管理のための入力フォームを作成中
- ・所有者・境界・施業履歴などの森林情報のデータベース化に着手
段階的な森林GISデータベースソフトの導入を計画

→22~23年度に市町村エリア毎に整備

◎ 木材を使った新商品の企画開発に着手(エコアス馬路村)

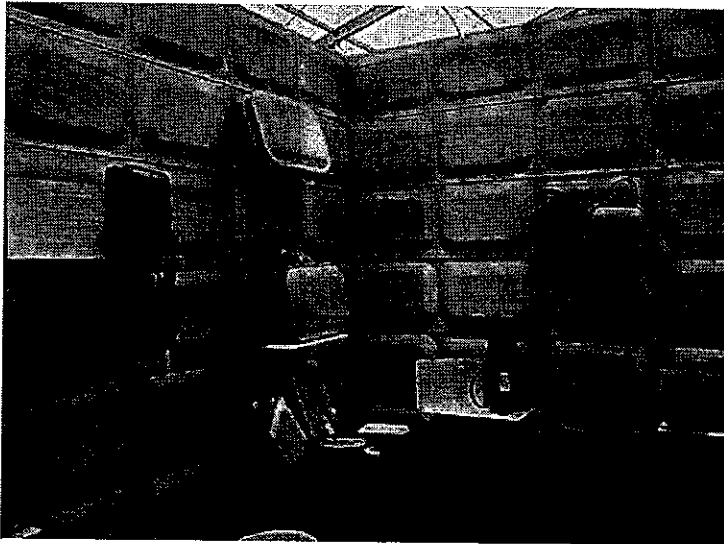
- ・デザインコンペ「新しい木のカタチ・新商品デザインコンテスト2009」を実施
54点応募 → 6点採択試作品(H21.12)
- ・既存商品及び本年度に試作した商品の国内外の展示会への出展
インテリアスタイル展(6/3~5) 125名来場(東京ビックサイト)
INPORT PRO EX CO出展(11/11~13)(東京ビックサイト)
メゾン・エ・オブジェ出展予定(1/22~26)(フランス)
- ・新規顧客との契約 4件(既存商品)

◎ 地域の伝統的な産業・土佐備長炭の生産拡大と新規製炭者の育成に着手(室戸市・東洋町)

中国産の炭の輸出規制などにより、国内産の需要が増加傾向にあることから、新たに共同窯等を設置し、生産量の拡大を図りつつ、新規製炭者の研修を行っていきます。

- ・研修窯(室戸市4基)、共同窯(室戸市2基、東洋町4基)の設置に着手
室戸市 72t、東洋町 115tの増産と
室戸市 8人、東洋町 6人の新規製炭者の育成を目指していく
- ・東洋町では生産者組合の組織強化
事務員の雇用(22年4月予定)

「うまじの森」売ります！ “エコアス馬路村”



《個性的な木製品の製造》

木製トレイや木製バッグのモナッカシリーズは、製材したスギの間伐材を貼り合わせて薄くスライスしたものを何層かに重ね合わせて特殊な技術を使ってプレスして折り曲げるというもので、環境に配慮した素材を使った、長く使うことでより味わい深くなる“感性価値レベルの高い商品”として、全国的に注目を集めています。近年では、海外の展示会にも出展し、ヨーロッパやアメリカでも高評価を得ています。

アクションプランでは、新商品の開発と既存商品の海外での販路拡大に取り組むこととしています。

《問い合わせ先》

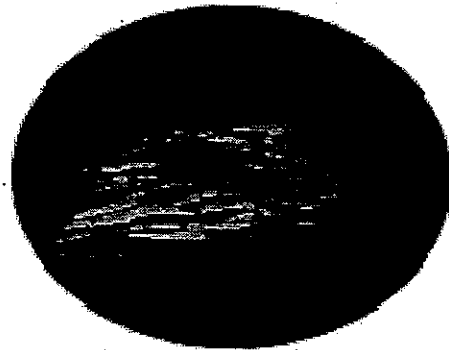
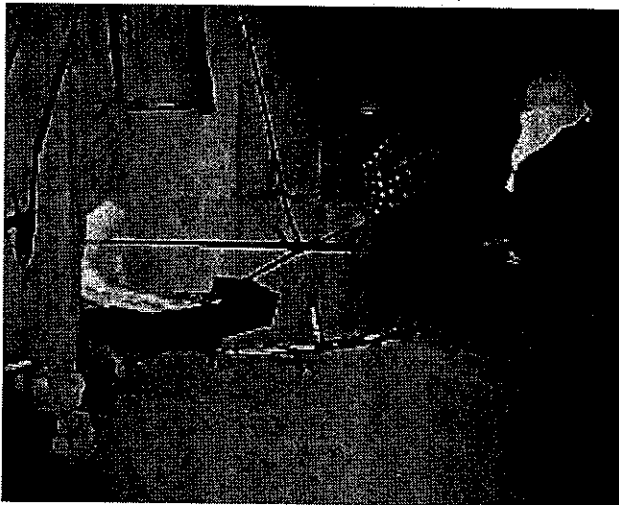
株式会社 エコアス馬路村

〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路 1464-3

TEL.0887-44-2535 FAX.0887-42-1911

<http://www.ecoasu.co.jp> e-mail umaji@ecoasu.co.jp

高級品として紀州産と並び称される備長炭



焼き上がった備長炭を炭窯から取り出す「窯出し」作業です。

このときの窯の中の温度は 1000℃を超える過酷な作業です。

《問い合わせ先》

室戸市木炭振興会

会長 森本 生長 (もりもと せいちょう)

〒781-6741 高知県室戸市羽根町甲 1966

TEL. FAX .0887-26-0987 会長携帯 090-6280-6304

土佐備長炭生産組合

組合長 西岡 尚宏 (にしおか なおひろ)

〒781-6201 高知県安芸郡東洋町大字河内 1117-3

(有)東部緑化内

TEL. FAX.0887-29-3444 組合長携帯 090-1574-0951

漁業分野

安芸地域では、かつて基幹産業として栄えた遠洋まぐろ延縄漁業の衰退とともに、釣り漁業や定置網漁業などの沿岸漁業主体へと転換が図られつつあります。しかし、近年は、水揚げや魚価の低迷、燃油や漁具に要する経費の増大などで漁業所得が低迷し、後継者不足と漁業者の高齢化が深刻化しています。

アクションプランでは、高級魚であるキンメダイの消費拡大と販売促進を図る一方、低価格魚の付加価値を高めるための取り組みなどを進めています。

これまでの取り組みの、主な内容を簡単にご説明します。

◎ キンメダイのブランド化に向けた取り組み

キンメダイは、県東部の釣り漁業で最も大きな水揚げ金額を占める魚種であり、県東部で年間 10 億円前後の水揚げがあります。全国的に見ても、本県は、静岡県、千葉県、神奈川県、東京都と並ぶキンメダイの主要産地で、関東以外では唯一の主要産地です。

現在、県東部で水揚げされるキンメダイの多くは関東などの県外消費地市場へ出荷されていますが、本県産キンメダイのブランド力はまだ極めて弱いのが実情です。

アクションプランでは、甲浦から安田までの漁業関係者で組織する芸東水産業改良普及協議会が事業主体となって、キンメダイのブランド力を強化していく取り組みに着手しました。

- ・ 21 年度は、まずは情報収集から始めることとし、県内外の消費地市場調査、他県のキンメダイブランド化戦略の実態調査を行っています。
- ・ また、本県産キンメダイの脂肪含有量の測定調査を行い、ブランド化戦略づくりの検討材料にすることとしています。

<問い合わせ先> 芸東水産業改良普及協議会事務局 高知県室戸漁業指導所

電話 0887-22-0645

電子メール 040403@ken.pref.kochi.lg.jp

◎ スジアオノリのブランド化に向けた取り組み

高知県漁協高岡支所では、平成 16 年から、海洋深層水を利用したスジアオノリの陸上養殖事業を行っています。

生産したスジアオノリは、ほとんどが加工原料として出荷されていますが、平成 20 年 11 月から小袋商品（原藻と青のり粉の 2 種類）を開発して、県内の量販店や道の駅などで一般消費者向けの販売を開始しています。

アクションプランでは、「海洋深層水スジアオノリ」のブランド化を目指して、品質の向上、販売促進、スジアオノリの新たな利用方法の検討などに取り組んでいます。

・販売促進

販路拡大のための市場調査(東京・大阪・広島)

小袋 10 個入りパッケージ・段ボールケースの購入と大型ポスターの作成

・商品開発

県内菓子メーカーが「青のり入りクッキー」の発売を開始

室戸調理師会、室戸食遊館 808 などと連携した名物料理・新商品の検討

売上額 20 年度 13,566 千円 → 12,707 千円 (～21.11)

<問い合わせ先> 高知県漁協 高岡支所 電話：0887-23-2211
高知県室戸漁業指導所 電話 0887-22-0645
電子メール 040403@ken.pref.kochi.lg.jp

◎ 「加領郷」ブランドによる地域の活性化の取り組み

加領郷では、漁協が運営する「びんび屋」と漁協女性部が運営する「もたみ市」という直販事業が行われており、地元で水揚げされた鮮魚やそれらを使った総菜類が販売されています。今のところ、加領郷の直販所での営業は週2日ですが、一部の総菜類については量販店での販売も始まっています。

アクションプランでは、漁協、漁業者、漁協女性部、奈半利町および県で構成する「加領郷活性化検討会」を立ち上げ、地域の特産品を「加領郷ブランド」として認定して商品化を進めるとともに、直販事業の拡大に取り組むこととしています。

・21年度は「スルメイカの船上天日干し」と「金目の炊き込みご飯」を「加領郷ブランド」に認定して商品化に取り組んでいます。

<問い合わせ先> 高知県漁協 加領郷支所 電話：0887-38-4005
高知県室戸漁業指導所 電話 0887-22-0645
電子メール 040403@ken.pref.kochi.lg.jp

◎ 低価格な定置網漁獲物の現地加工と販売の取り組み(室戸市)

県東部には大きな水産加工施設はありませんが、この度、県内の水産加工業者が加工施設を整備し(H22.3完成予定)、漁協と連携して、まずは「しめ鯖」などを現地加工し販売を展開していくことに着手しました。周辺の大型定置網などで漁獲されるサバなどの低価格魚を高鮮度のまま加工することで高品質の水産加工品を製造することが可能となり、魚価の向上や雇用の拡大などによる地域の活性化が期待されます。

今後5年間で、原魚サバ約200t/年の現地加工、販売額約1億円を目指しています。

また、この取り組みは、高知県漁協との連携事業として進めることとしており、高知県漁協ブランドの水産加工品をこの加工施設で製造する計画となっています。

<問い合わせ先> 高知県室戸漁業指導所 電話 0887-22-0645
電子メール 040403@ken.pref.kochi.lg.jp

◎ 新たな漁業の導入とシラス魚価等の向上の取り組み (安芸市)

深海縄操業技術を確立しようと、青年漁業者を主体とした研究会を設立しました(21.4)

・ 県のアドバイザー制度を活用して、アカムツなどの深海魚の操業技術を習得しています。

今年度のアドバイザー事業で漁具の作成と基本的な操業手順等は修得しました。試験操業の結果、今後、漁場となる海域の潮流や海底地形及び漁具の投入、取り上げ位置などに習熟することが大きな課題となっています。ただし、この深海縄漁業はアカムツだけでなくクエなどの高級魚にも応用できますので、主力漁業のシラスバッチ網漁業の合間での操業経験を蓄積する計画となっています。

漁村女性起業化グループ（シラス）が誕生し（H21.5）、活発な活動を開始

・新たな加工品を開発（シラス佃煮）、地元量販店等での実演販売活動などを実施

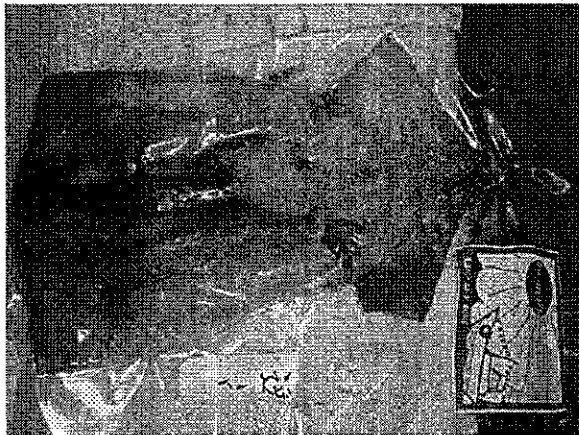
<問い合わせ先> 安芸おじゃ娘 代表・前田常子 電話 0887-35-3475



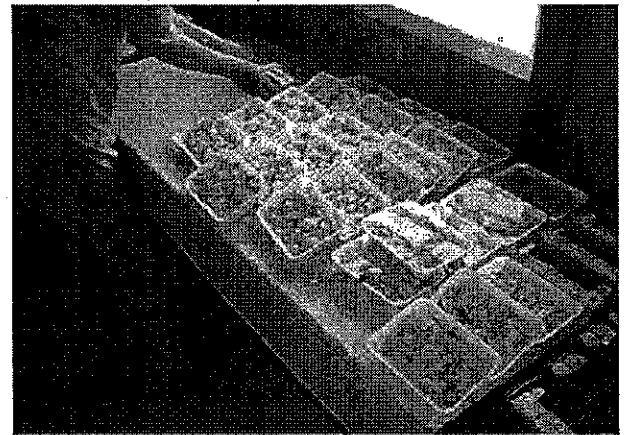
キンメダイ脂肪含有量の測定



海洋深層水スジアオノリの小袋商品



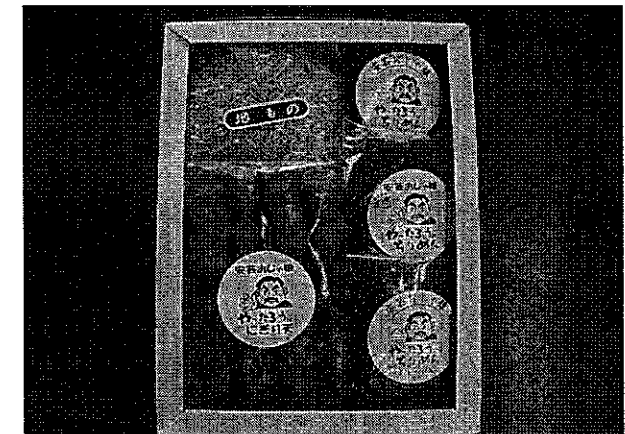
「スルメイカの船上天目干し」の試作品



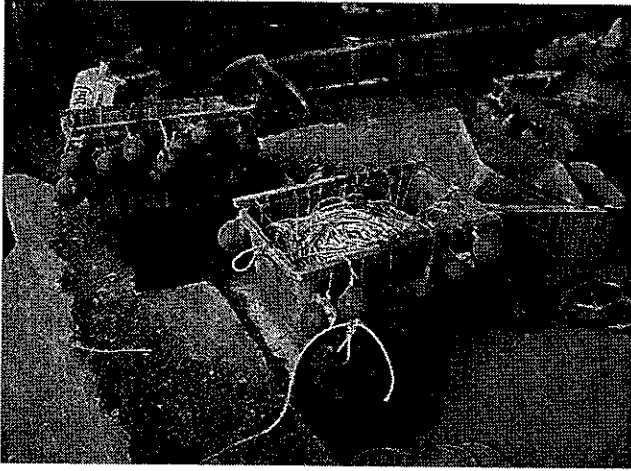
「金目の炊き込みご飯」の販売風景



写真：定置網漁獲物の選別風景

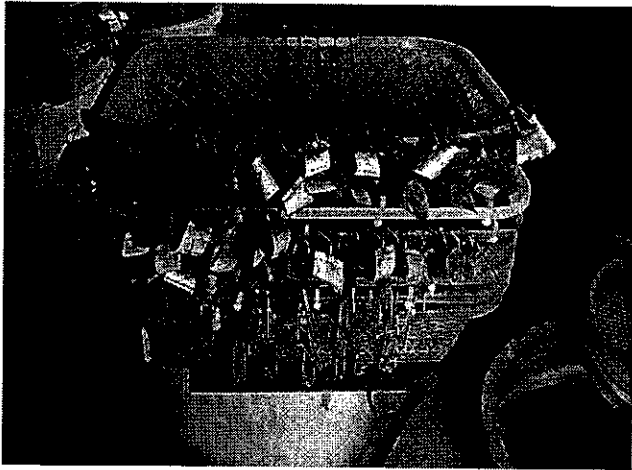


安芸おじゃ娘（シラス佃煮ほか）

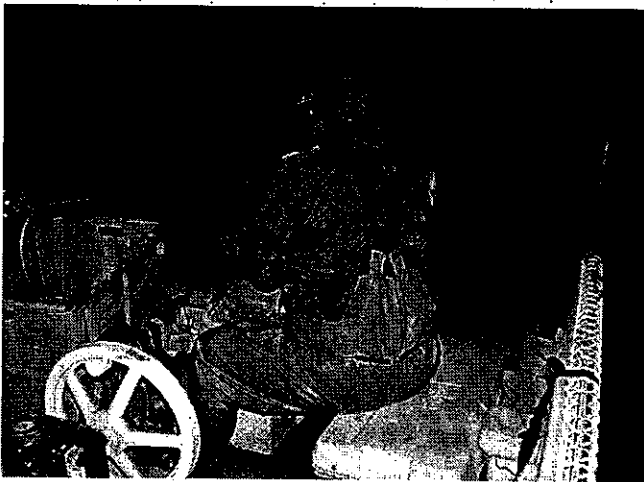


深海罾試験操業

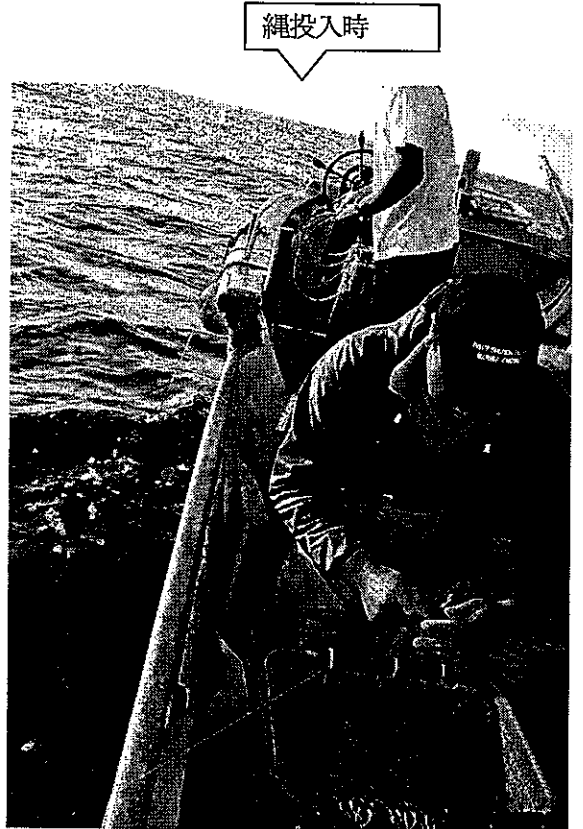
幹縄



枝縄に餌を付けたところ



縄揚げ時



縄投入時

観光分野

自然、歴史、文化遺産など魅力ある観光資源が多数あるものの、幹線道が単線であることと圏内宿泊キャパシティが小さいことから典型的な通過型観光地域となっています。地域の資源をより魅力的に観光客に伝えるためには、圏域を一体とした取り組みが求められます。

特に、本年度は、「龍馬伝」放映という追い風を最大限に活かしていくため、県東部地域への交流人口の拡大を目指した取り組みを重点的に進めています。

◎「龍馬伝」の放映を契機とした取り組み

(1) ドラマの重要人物である岩崎弥太郎の出身地・安芸市の取り組み

① サテライト会場「安芸・岩崎弥太郎ころざし社中」を開設

高知市内などから東部への誘客の拠点として、大河ドラマ関係の展示や岩崎弥太郎の志をコンセプトに龍馬との関係や三菱グループの礎を築いたストーリーを紹介していきます。また、龍馬や弥太郎ゆかりの地をはじめ東部地域の観光地を幅広く訪れていただけるよう、見どころ・食どころ・買い物どころなどの情報を紹介していくこととしています。H22.1.オープン(予定)

② 岩崎弥太郎生家、土居廓中など主要観光スポットの案内板・説明看板の整備

③ 周遊ルートの設定とPR(パンフレットの作成等)

レンタサイクルを活用した周遊ルートの設定

タクシーを活用したコース 2コース(周遊観光タクシー)

弥太郎生家から妙見山山頂への道=ころざしの道の散策道の整備

広域周遊バスの運行(龍馬であい博に併せて東部の龍馬ゆかりの地などを毎日運行)

④ ガイド体制の強化

安芸市観光大学による養成講座を開催

ガイド等の受け入れスキル向上(龍馬博アドバイザー藤澤氏による指導)

登録ガイド総数約50人

④ 土産物としての特産品の開発

とっくり酒「えい彌」、ゆず和菓子「弥太郎くん」等5品目を開発サテライト会場や主要観光スポットを中心に販売

<問い合わせ先> 〒784-8501 高知県安芸市矢ノ丸1-4-40 安芸市商工観光水産課

TEL0887-35-1011



【龍馬伝を機に商品化が決まった製品】

- ① 内原野焼の陶工・西邨滋さん作のとっくりに入った日本酒「えい彌」(有光酒造場)
- ② 安芸産のユズを使い、弥太郎の顔をイメージした和菓子「弥太郎くん」(濱田屋)
- ③ 安芸産のナスやユズ、茶を使った洋菓子(洋菓子倶楽部)
- ④ 弥太郎ゆかりの妙見山で栽培された梅を使ったキャラメル(NPO 法人ホップあきの会)
- ⑤ 安芸産の野菜や加工品を詰めた特産品セット(ユニオン)

(2) 龍馬の盟友中岡慎太郎の出身地・北川村の取り組み

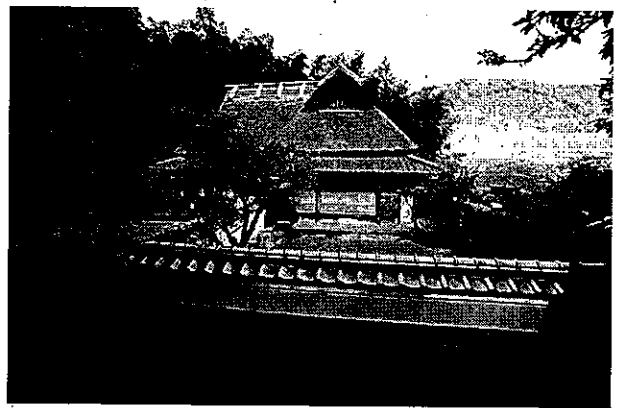
- ① 中岡慎太郎館(平成6年オープン)をリニューアルし満足度をアップ
サテライト会場から中芸地域への誘客の拠点として、ツアー等大人数の来館者があつた場合にも、短時間でポイントが理解できるよう、映像等をリニューアルしています。
H22.1. 月リニューアルオープン(予定)
- ② 幕末維新村と銘打って「幕末村」形成のための雰囲気づくり
中岡慎太郎生家の整備
「向学の道」を整備など
- ③ 関連イベントの開催により、少しでも長く滞在していただく
寺子屋体験(龍馬博開催期間中随時予約受付)
向学の道ウォーキング、マラソン大会
生家宿泊体験(龍馬博開催期間中随時予約受付)など
- ④ 地域産品を併せて提供
田舎ずしの販売、グッズ、ゆず関連商品を開発中
- ⑤ 北川村内観光施設との相互連携により、それぞれの施設を利用いただく
「モネの庭」「北川村温泉」の周遊券の発行(予定)
「龍馬伝」特別ランチによるサービスの提供(予定)

<問い合わせ先>

〒781-6449 高知県安芸郡北川村柏木140 北川村中岡慎太郎館
TEL: 0887-38-8600



中岡慎太郎館



中岡慎太郎生家

◎「魚梁瀬森林鉄道遺産」を活用した取り組み

中芸 5 町村にまたがる旧魚梁瀬森林鉄道(1911 年開通～1963 年廃線)の隧道(トンネル)や橋梁跡など、18カ所が、林業技術史上貴重な土木施設として、国の重要文化財に指定されました(H21.6月)。森林鉄道としては全国初、町村をまたいだ広域での指定も全国で始めてのことです。この森林鉄道遺産を地域の宝として後世に残すとともに、他の観光資源と組み合わせ、交流人口の拡大を図るための取り組みを行っています。

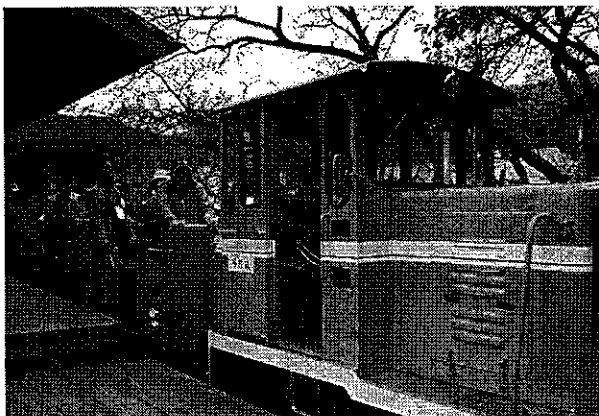
- ① ホームページ等情報発信手段の整備(H22.3月オープン予定)
WEBミュージアム、パンフレット等との連動
- ② ガイド体制の整備
現ガイド数=馬路村4名、北川村2名、安田町2名、田野町2名、奈半利町5人(増員養成中)
課題=中芸広域での事務局機能の整備
- ③ 案内看板の整備
統一コンセプトにより19箇所に整備(H22.2月末予定)
- ④ モニターツアーの実施
JR 四国の旅行商品とジョイントしたコース設定や料理等魅力アップの検証(11月28日～29日実施、4月に日帰りツアー実施予定)

<問い合わせ先>

●奈半利町教育委員会
〒781-6402
安芸郡奈半利町乙 1659-1
Tel. 0887-38-8188
●北川村教育委員会
〒781-6441
安芸郡北川村野友甲 618
Tel. 0887-32-1223

●田野町教育委員会
〒781-6410
安芸郡田野町 1456-42
Tel. 0887-38-2511
●馬路村教育委員会
〒781-6201
安芸郡馬路村大字馬路 443
Tel. 0887-44-2216

●安田町教育委員会
〒781-6423
安芸郡安田町大字西島 40-2
Tel. 0887-38-5711
●地域支援企画員
〒781-6421
安田町安田 1850 安田町役場内
Tel. 0887-38-2696



遺産見学会(10月25日) 丸山公園(馬路村)



JR 四国ツアー(11月28日) エヤ隧道(安田町)

◎「室戸ジオパーク(地質資源)」を活かした取り組み

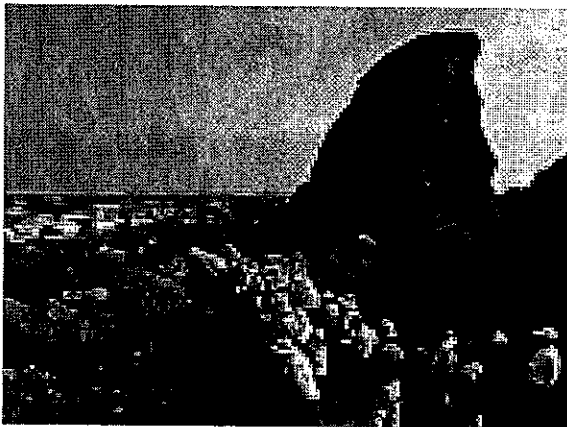
室戸半島の海岸沿いに露出する岩石や地層を見れば、どのようにして巨大地震が地殻の急激な隆起を引き起こし、人々が生活する大地を形成するのかを理解できます。地質遺産(ジオパーク)を含む自然公園としてH20.12月に日本ジオパークとして認定されました。さらに、世界ジオパークの認定を目指し、世界的にも貴重な地質資源を地域の自然・歴史・生活文化とつなぎ合わせ、観光資源として活用していく取り組みを進めています。

- ① 遊歩道や案内看板等の整備(H21年度中 12箇所設置)
多言語対応によるインバウンド入込みを想定
- ② ホームページ等情報発信の強化(H22.1月オープン予定)
- ③ 教育等に活用できるDVDなどツールの整備(H21年度内完成)
教育目的利用のコンセプト

- ④ ジオガイドの養成
全11回の講座を終了し認定ガイド新規14人登録 総数21人

<問い合わせ先>

室戸市浮津25番地1 室戸市役所企画財政課ジオパーク推進室
TEL 0887-22-5161



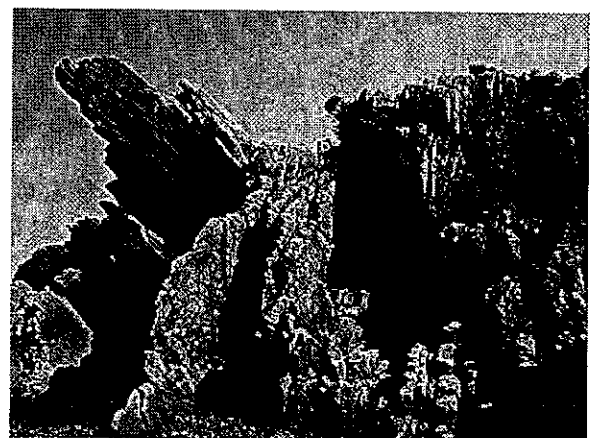
室戸岬・乱礁遊歩道 エボシ岩 (地震隆起の証拠)



天狗岩



ジオガイド



タービダイト層
(砂岩、泥岩交互堆積層)

◎ 「海の駅とろむ」(室戸岬漁港新港)を核とした交流人口拡大の取り組み

<「海の駅とろむ」について>

- ・ 室戸岬より国道55号を西に3km、室戸岬漁港新港にあります。
- ・ 室戸岬漁港新港は、遠洋マグロ漁船の基地港として整備が進められてきましたが、平成11年の国際的マグロ船減船により、在港マグロ漁船がなくなりました。
- ・ このことにより、すでに完成していた外郭施設の背後用地をどのように活用するかの検討が始まりました。
- ・ 平成15年には漁港水域の一部を利用し、室戸市と神奈川県麻布大学の協同事業としてイルカの研究飼育を開始しました。
- ・ 翌平成16年にはレストラン、直販所が整備され、「海の駅とろむ」がオープン。
- ・ 平成18年からは、イルカ飼育をNPO法人室戸ドルフィンプロジェクトが引き継ぎ、室戸ドルフィンセンターをオープンしました。
- ・ また、平成20年12月は徳島バス的高速バス発着ターミナルも整備され、地域の交流の拠点となっています。今年11月には高速バスが1便増便し、関西からのアクセスも充実しました。

<アクションプランの取り組み>

- ・ 室戸ドルフィンセンターでのイルカふれあい体験の充実
- ・ 新たな取り組みとしてのダイビング事業の創出
- ・ 「海の駅とろむ」での干物づくりやタタキづくりなどの体験などを組み合わせることにより、交流人口増加を図ることを目指して取り組んでいます。

① 室戸ドルフィンセンターの機能強化

夏場の人気プログラムとなっているドルフィンスイムの実施回数を増やすなど、イルカとの触れ合い体験を充実しています。

- ・ 補助スタッフの配置やウエットスーツの購入
- ・ 新たなプログラム創出のための、クリアーカヌー導入等

来場者(11月末) 19,800人 前年度比1.15倍

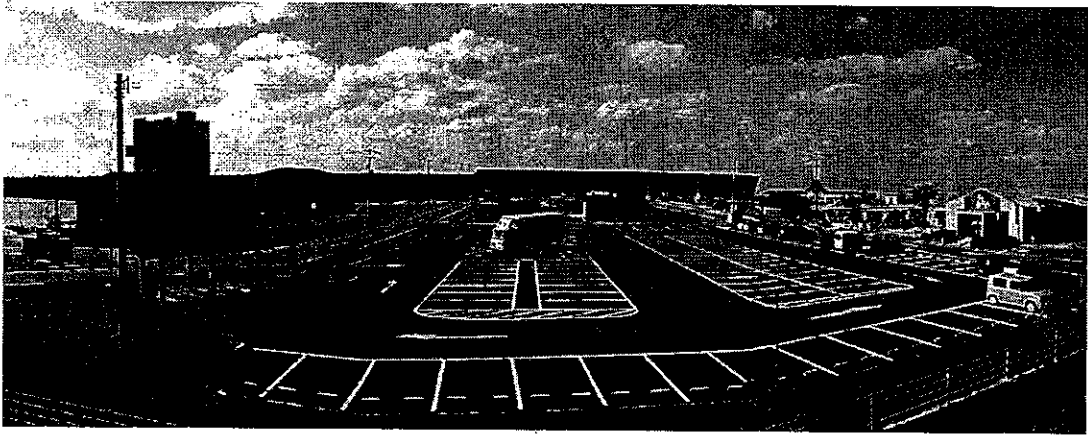
ドルフィンスイム参加者(11月末) 1,291人 前年度比155人増

② スキューバーダイビング事業の創出

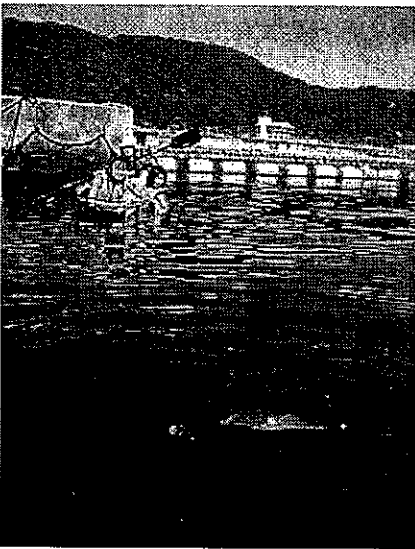
室戸岬周辺の海域には、魅力ある多様なスキューバーダイビングスポットがあります。そのうえ、室戸岬を境に東側・西側の海域があり、片方の海が荒れていても、もう片方の海でダイビングが楽しめるという、地形にも恵まれています。また、関西圏からのアクセスは4~5時間と有利な地理的条件にあります。

しかしながら、密漁者問題などダイバーと漁業者によるトラブルもあり、室戸へのダイビング年間入り込み数は、現在1500人程度となっています。

これらの問題を解決するため、漁業組合を中心としたダイビング事業の創出を基本に、漁業者との調整に取り組んでいます。



「海の駅とろむ」全景



クリアカヌーからイルカウォッチング

【コメント】

クリアカヌーに乗ってイルカを見よう！イルカ水域をぐるっとひと回り！小さな魚や海の仲間もウォッチング！



ドルフィンスイム

【コメント】

人気 NO.1！イルカと一緒に泳ぐプログラム！かわいいイルカたちに癒されること間違いなし！

室戸ドルフィンセンター TEL/FAX : 0887-22-1245

URL : <http://www.muroto-dc.jp>

年中無休で営業

【プログラム料金】

ハロールドルフィン…大人 420 円 子供 315 円 4歳未満無料

ドルフィンタッチ…大人 735 円 子供 630 円

トレーナー体験…大人・子供 2,100 円

クリアカヌー…大人 735 円 子供 630 円

ドルフィンスイム…大人 8,000 円 子供 5,000 円

◎ 東部地域全体の取り組み

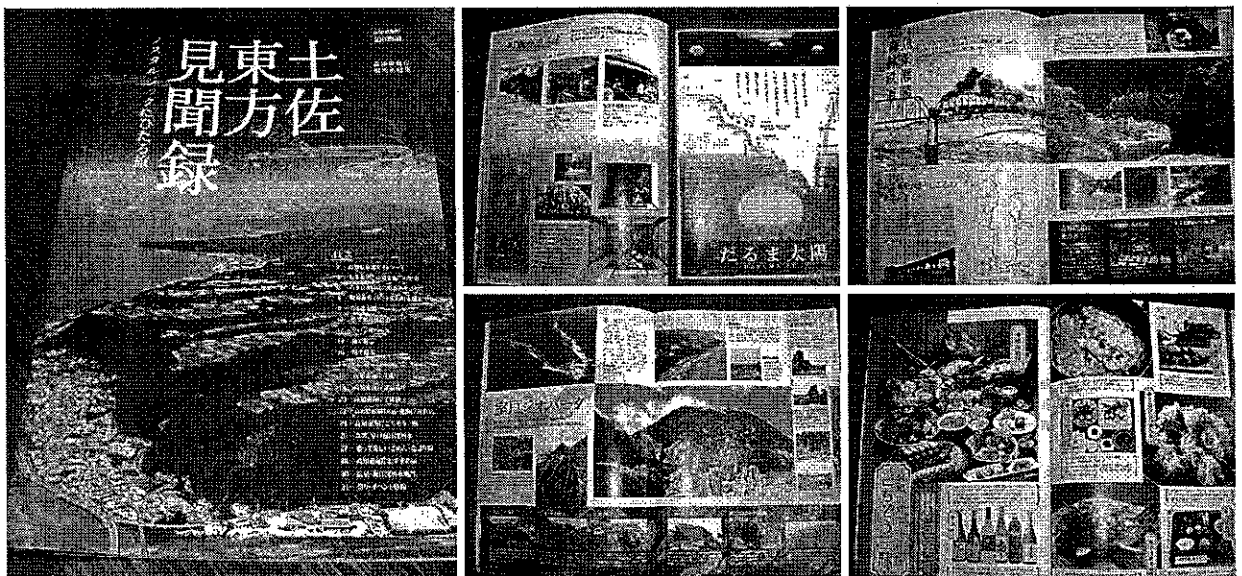
地元の人の地域のことを伝えたい、知ってもらいたいという思いに勝る観光資源はありません。龍馬伝、森林鉄道、ジオパークをメインのテーマとして、ガイド組織の育成を全力をあげて支援しています。

また、それぞれのエリアの魅力を組み合わせて、滞在し、楽しんでいただく体験滞在型観光の仕組みづくりと、商品として旅行代理店やメディアにダイレクトに伝え、受け入れていける、市町村の範囲を超えた広域でのワンストップ窓口の整備を目指しています。

- ① テーマやターゲットに併せた旅行プランの作成と PR
龍馬伝、森林鉄道、ジオパーク等プランのたたき台となるコースを観光コンベンション協会と連携して策定・PR
- ② 東部観光素材集や広域観光 DVD の整備
H21.11 素材集完成、龍馬博県外キャラバンと連携した営業活動(東京、近畿、山陰、東海等)
DVD は年度内完成予定 旅行エージェント等へ営業プレゼンできるよう 2バージョン(東海岸観光周遊バス等での定点放映用 25 分版、営業プレゼン用 7 分版)に編集
- ③ 旅行エージェントやメディアに対する東部地域の観光営業活動
県外事務所と連携して新しいメディア媒体へのアプローチ等を計画
- ④ 広域観光のワンストップ窓口としてのランドオペレーター の整備
H22 年度から人材確保し育成研修開始

<問い合わせ先>

安芸市伊尾木4034-1 安芸広域市町村圏事務組合
TEL 0887-32-0322



東部観光素材集(H21.11月作成)

補助金の活用状況 ※安芸地域本部関与分

ア:アドバイザー依頼

項 目	対象事業費	国補助金等	県補助金	市町村費	その他	備 考
2 ユズを中心とした中山間地域の農業振興	276,245	150,830	50,000	75,415		産振補助
4 西山きんとき芋販売促進事業						ア
9 上庄佐備長炭販売促進事業	12,370		8,246	2,400	1,724	産振補助
室戸市	5,370		5,580	1,700	90	
東洋町	7,000		4,666	700	1,634	
11 林業加工品の販売促進	18,480		11,720	5,380	880	産振補助
12 キンメダイのブランド化に向けた取組	1,000		499	250	311	水産補助
13 スジアオノリのブランド化の取組	300		150	75	75	水産補助
14 低価格な定置網漁獲物の販売戦略	49,598		24,799	8,266	16,533	産振補助
15 新たな漁業の導入と振興とシラス魚価等の向上						ア 水産補助
16 「加領郷」ブランドによる地域の活性化	730		352	176	202	水産補助 別途、安芸広域500
22 体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備	7,000		3,500	3,500		産振補助
23 地質資源を活かした交流人口の増加 (世界ジオパークに向けた取組)	24,355		16,234	8,121		産振補助
24 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	4,114		2,677	686	751	産振補助
25 シレストむろとを核とした健康観光産業	13,190	13,190				地方の元気再生事業 ア
26 龍馬伝に関連した特産品開発や周遊ルートの確立等	3,585		1,725	1,860		地域支援補助 ア
29 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大	6,473		5,700	2,900		産振補助
31 体験型観光への取組 ～大野台地は、えいところ～	1,000		500	500		地域支援補助
32 安田川の清流資源を活かした交流人口の拡大	2,081		1,040	1,041		地域支援補助
安田町分						22 予定
馬路村分	2,081		1,040	1,041		
33 百民家と地場産販売施設等を活かした交流人口の拡大	50,000		25,000	25,000		産振補助
34 龍馬伝を活かした観光振興	47,930		29,967	18,023		産振補助
採 択 の 合 計	518,608	164,020	181,108	153,592	19,888	
合 計	520,638	164,020	182,109	154,033	20,476	
内 産振補助金	498,752	150,830	177,843	150,191	19,888	